

公表：令和 6年 2月 29日

事業所名 放課後等デイサービス「風の子クラブ」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容又は目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%		別部屋を利用したり・その日の利用者に合わせて環境設定をしている。	パーテーションを利用して仕切をしている。クールダウンや、個別にしたい時は、多目的事業所なので空き部屋を利用したりしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%				曜日によって状況が違い、1対1対応しないといけない児童も多く、応援が欲しい時もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			バリアフリーになっている。手すりも設置している	配慮されている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%				会議を行い、全員で話し合いの中で決めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				これまでは、連絡ノート等で、保護者の意見を聞いて業務改善に繋げてきた。これからも、様々なご意見を参考に、適宜会議を行い改善していくようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				事業所内に掲示し、ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			法人全体で第三者委員会を設置している	評議委員会に報告、会議を行っている。理事会で事業報告を提出している。毎月、サビ管会議を行いその中でも、検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			法人内外研修をしている	年間計画に基づき、社内外の研修に参加している。(ズームを利用したりしている)これからも継続して行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				計画期間ごとに、モニタリングとアセスメントを行い個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			施設で統一したアセスメントシートがある	アセスメントシートを利用している。また、職員会議の中で、状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				職員会議の中で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				時期や本人の体調、機嫌などに考慮しながら、話し合いを持って進めている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			スケジュールを視覚化している	毎月、活動予定表を利用者に配布して、どのような活動をするのか児童にもわかるようにしている。長期の時は活動内容がわかるようにしおりをノートに貼っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				集団活動、個別活動を組み合わせて計画を立て、支援している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			送迎表、座席表、活動予定表を作っている。	一日の予定を確認し、車の運転、座る位置等も確認している。・保護者よりメール等で子どもの様子などの情報をいただいた時には、職員間で周知し、対応するようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%				終了後、短時間ではあるが子どもの様子や、送迎時保護者との会話で得た情報等を話をするようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				記録は毎日つけている。適宜、会議をおこない情報の共有と問題点の改善を職員全体でおこなうようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				今後も、成長に応じて適宜モニタリングを行っていく。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100%				適宜、おこなっている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			会議参加後、報告書を作成し、職員で周知している	児童発達支援管理者が参加している。会議の内容を職員会議等でも話し合い、支援に繋げている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%				下校時には、常に先生より様子を伺う。体調が悪い場合などは特に気を配るようにしている。年間計画・行事予定は学校からメールでいただいている。下校時間もそこで確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか						該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%				必要に応じて、情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%					事業者間で、できるだけ情報の共有をするようにしている。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%					必要に応じて、連携している。	

26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%			コロナ感染等もあり行っていない。		
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	100%		適宜、対応しているが、コロナ禍以後参加出来ていない。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		送迎時や、連絡ノート等で情報共有している	連絡ノート、メール、電話、送迎時に伝えるようにして共通理解出来るようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			100%	保護者への研修は行ってない。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		職員全員で話し合い対応している	その都度、悩みや相談を聞き、職員全員で話し合い対応をしている。同じ、支援が出来るようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	年に1回、親子親睦旅行は行っていたが、コロナ発生以後は行ってない。保護者会はないが、同じ学校に行っているため保護者同士は仲がよい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			重要事項説明書に記載している。第三者委員会を設置している。	苦情等があった場合、上司に報告し対応を検討し全体で対応していくようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			活動予定表、活動のスクラップを作っている。	風の子だよりを作成し、活動予定については、毎月保護者に配布している。必要に応じて、文書を作成し連絡ノートなどでお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			契約時に説明し同意を得ている。	契約時に個人情報のついて、説明し同意をえている。また、支援計画の中にも入れて、面談の時に同意をえている。また、写真等使う時には、個別に許可を得るようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			視覚的な支援をおこなっている。	連絡ノート、メール、電話、送迎時等に伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%		コロナ禍なので未実施。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%				緊急対応マニュアルがあり、時期等に合わせて、周知するようにしている。	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				園で職員は毎月、訓練をおこなっている。児童が参加するのは、長期休暇の時におこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				研修会があれば参加するようにしている。また、年に2回職員に虐待のチェック表を使い注意喚起している。また、保護者にも支援計画の面談の時に話をして虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			放課後等デイサービス計画に記載し、保護者に説明し同意をえている。	身体拘束の必要性が低い利用者が多いので、身体拘束を行った事例はない。放課後等デイサービス計画の中に記載している。面談の時に説明し同意をえている。職員への虐待防止の研修をおこなっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				保護者の申告に基づいて対応している。薬の変更等があった場合も、保護者より情報をいただいている。必要な場合は指示書をいただくようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し、職員が情報共有し、今後の統一した対応が出来るようにしている。	報告書を作成し、情報を共有している。その都度、課題を整理して話し合い、今後の対策を考えて行くようにしている。